



* 2011 年 1 月 21 日、米国にて発表されたプレスリリースの全訳です。
同発表に関するカンファレンス・コール/ウェブキャスト再生、プレゼンテーション資料、および関連資料等は、GE ウェブサイト内「インベスター・リレーション」(http://www.ge.com/investors/events/event_id01212011.html) をご覧下さい。

PRESS RELEASE

GE、2010 年度第 4 四半期および通年の業績を発表

2010 年第 4 四半期の 1 株当たり利益は 33%増の 0.36 ドル、通年では 15%増の 1.15 ドル
第 4 四半期の売上高は 414 億ドル、通年では 1,502 億ドル
産業分野事業の内部成長率は 6%、インフラストラクチャー事業の受注高は 12%増
産業分野事業の営業活動による当四半期キャッシュフローは 46 億ドル、通年では 147 億ドル

2010 年度第 4 四半期および通年の決算ハイライト (GE に帰属する継続事業)

- 利益は 3 四半期連続で 2 桁増。
- 第 4 四半期の普通株 1 株当たり利益(EPS)は 0.36 ドル、通年では 1.15 ドル。
- 第 4 四半期利益は 39 億ドル、通年では 126 億ドル。
- 環境は引き続き好転し、売上高もさらに堅調に推移。
- 産業分野事業の売上は 4%増、同事業の内部成長率は 6%。
- インフラストラクチャー事業の受注高は前年同期比 12%増の 248 億ドル、設備・機器の受注高は 20%増、サービス受注高は 5%増。
- GE キャピタルにおける着実な計画実行により、第 4 四半期の利益 11 億ドル、税引き前利益 10 億ドルを達成。
- 成長に寄与した GE のビジネスモデル。
- 産業分野事業の営業活動による通年のキャッシュフロー総額は 147 億ドルと堅調。
- 産業分野事業 (NBC ユニバーサルを除く) の当四半期利益率は前年同期比 10 ペーシスポイント増の 17.5%と堅調。
- 現金および現金同等物の連結期末残高は 790 億ドル。
- 2011 年のフレームワーク (事業見通し) はバランス良い構成で、引き続き達成可能な見込み。
- 2010 年末時点の総受注残高は過去最高の 1,750 億ドルに増加。

2011年1月21日【米国コネチカット州フェアフィールド】

GEは本日、2010年第4四半期(2010年10-12月)の業績を発表しました。(GEに帰属する)継続事業からの利益は39億ドル、1株当たり利益は前年同期比33%増の0.36ドルと堅調な業績を達成しました。当四半期の売上高は414億ドルまで増加し、過去9四半期ぶりのプラス成長となりました。

GE のジェフ・イメルト会長兼 CEO は次のように述べています。「当社は、3 四半期連続で利益を順調に伸ばし、2010 年を締めくくることができました。産業分野事業の売上は 4%増、同事業の内部成長率は 6%でした第 4 四半期の受注高は前年同期比 12%増で、設備・機器で 20%、サービスで 5%の増加となりました。重要な点は、エナジー・インフラストラクチャー事業全体の受注高が 4%増加したことです。当四半期の受注残高は 31 億ドル増加し、過去最高の 1,750 億ドルとなりました。」

「GE キャピタルの堅調な業績も、心強いものでした。同社の第 4 四半期の純利益は前年同期比 10 億ドル増の 11 億ドルとなりました。当四半期の取扱高は 30%増加し、高利益率で推移しました。損失および減損金額は対 2010 年第 3 四半期比で 3 億ドル減少し、25 億ドルとなりました。また、GE キャピタルの事業全体にわたり、滞納率が改善しています。」

「我々は引き続き、統制および厳格さをもって GE を経営していきます。GE の産業分野事業からの営業活動によるキャッシュフロー総額は当四半期で 46 億ドル、2010 年通年では 147 億ドルとなりました。現金およ

び現金同等物の連結年度末残高は、790 億ドルでした。産業分野事業（NBC ユニバーサルを除く）の第 4 四半期利益率は前年同期比 10 ペーシスポイント増の 17.5%となり、当社が研究開発投資を増加させつつ（通年で 21%増）、結果を出していることが証明されました。」

「これまで、GE による NBC ユニバーサル経営権売却が 2010 年第 4 四半期には完了すると予想していましたが、現在のスケジュールでは 2011 年第 1 四半期に完了する見込です。この遅延により、第 4 四半期の税率が想定より低くなり、来年第 1 四半期の税率が高くなるため、2011 年通年の当社の税率は大幅に上昇すると考えています。」

2010 年第 4 四半期の業績は、IRS（米内国歳入庁）との和解を含め、1 株当たり 0.10 ドルの優遇税制が適応されるなど、一過性の要因が見られました。また、ハドソン川浄化の第 2 フェーズに必要な準備金および GE 産業分野事業のコスト削減を含み、当四半期の 1 株当たり事業再編その他費用の合計は 0.10 ドルとなりました。

第 4 四半期のハイライトとして、大規模な官民連携、インフラストラクチャー事業の大型案件受注、成長著しい地域での事業拡大などが挙げられます。具体例として、GE は中国鉄道省および CSR（中国南車）社と提携し、米国を拠点とする合併事業を設立することに合意しました。この事業は、米国の顧客を対象に高速鉄道および都市交通の車両を整備するものです。また、GE の航空電子システムの競争力をさらに強化すべく、中国航空工業集团公司(China Aviation Industry Corporation)と折半出資会社設立に合意しました。ロシアでは GE、ロシアン・テクノロジー(Rostekhnologii)、国営 INTER RAOU UES JSC との間で、ロシアの電力およびヘルスケア分野の近代化（発電設備の更新、医療機器の高度化）に向けた合併事業の設立に合意しました。

当四半期における産業分野事業の主な受注実績として、商用航空サービス分野での 58 億ドル超の設備・機器およびサービスの受注が挙げられます。また、ラン航空、キャセイ航空、COMAC（中国商用飛機有限公司）、デルタ航空他との 30 億ドル超の長期サービス契約や、インドのアンドラ・プラデシュ州 Samalkot 発電所拡張のための発電技術に関する 7 億 5 千万ドル超の契約を同国リライアンス・パワーと締結しました。これに加え、サウジアラビアのリヤド PP11（高効率発電所）新規建設のための発電設備・機器やサービスに関する 7 億ドル規模の契約、Shaybah 石油・ガス処理プラント拡張に必要な各種設備・機器およびサービスの納入に関するサウジアラムコとの 5 億ドル規模の契約などを受注しました。

「GE は第 4 四半期も引き続き、バランスの良い資本配分計画を実行しました。産業分野事業のコア・ケイパビリティを補完するための戦略的 M&A もその一部です。2010 年最後の 90 日間で、GE ヘルスケアによる Clarient（成長著しい分子診断領域における、がん診断技術大手）の 5 億 8 千万ドルでの買収完了、GE オイル&ガスによる Wellstream Holdings PLC（石油・ガス田の海底輸送用高品質・フレキシブルパイプライン製造およびエンジニアリング企業）の 13 億ドルでの買収表明のほか、GE エナジーによる Dresser, Inc.（エナジー・インフラストラクチャー・テクノロジーおよびサービスのグローバル企業）の 30 億ドルでの買収計画の発表を行いました。また GE エナジーは今月初めにも、スマートグリッドやデータセンターのエネルギー管理における同社のケイパビリティ増強のため、Lineage Power Holdings Inc.に対して 5 億 2 千万ドルで買収提案を行ったことを発表しています。」

「さらに、12 月には半年間で 2 度目の増配を発表し、配当総額を年初比 40%増加いたしました。また、年に自社株買いを再開して以来、18 億ドル相当の株式を買い取りました。」

2010 年通年および第 4 四半期の決算ハイライト

GE に帰属する継続事業からの 2010 年通年の利益は、前年の 109 億ドルから 15%増の 126 億ドルとなりました。継続事業からの 1 株当たり利益は、前年比 15%増の 1.15 ドルとなりました。セグメント別利益は、GE キャピタルが同 123%の増加となり、テクノロジー・インフラストラクチャー事業の 7%減の影響を大幅に圧縮し、全体では前年比 9%増となりました。

非継続事業の実績を含めると、2010 年通年の GE に帰属する純利益は 116 億ドル（普通株 1 株当たり 1.06 ドル）となりました。なお、前年の純利益は 110 億ドル（普通株 1 株当たり 1.01 ドル）でした。

2010 年通年の売上高は、3%減の 1,502 億ドルとなりました。GE キャピタルサービス(GECS)の売上高は、前年比 4%減の 505 億ドルとなりました。産業分野事業の売上高は同 3%減の 1,002 億ドルとなりました。

GE に帰属する継続事業からの第 4 四半期の利益は、前年同期の 30 億ドルから 31%増の 39 億ドルとなりました。継続事業からの 1 株当たり利益は、前年同期比 33%増の 0.36 ドルとなりました。セグメント別利益は、GE キャピタルが同 900%以上の増加、NBC ユニバーサルが 38%増、テクノロジー・インフラストラクチャー事業が 11%増となり、エネルギー・インフラストラクチャー事業の 2%減の悪影響を大幅に圧縮し、全体では前年同期比 28%増となりました。

非継続事業の実績を含めると、第 4 四半期の GE に帰属する純利益は前年同期比 50%増の 45 億ドル（普通株 1 株当たり 0.42 ドル）となりました。なお、前年同期の純利益は 30 億ドル（普通株 1 株当たり 0.28 ドル）でした。GE キャピタルが BAC Credomatic GECF Inc.の戦略的売却を完了したことにより、非継続事業において 8 億ドルの利益を計上しました。ただし、この一部は当社の米国内レクリエーション・ビークル（RV 車）・船用機器向けファイナンスおよび Consumer Mexico 事業の撤退に伴う損失によって相殺されました。

第 4 四半期の売上高は、1%増の 414 億ドルとなりました。GE キャピタルサービス(GECS)の売上高は、前年同期比 2%減の 128 億ドルとなりました。産業分野事業の売上高は同 1%増の 287 億ドルとなりました。

GE 産業分野事業の営業活動による 2010 年通年のキャッシュフロー総額は前年の 164 億ドルから 10%減の 147 億ドルとなりました。

「非常に大きなモメンタムを持って、2010年度を終えることができたと思います。2010年12月の投資家向け説明会でお伝えしたとおり、2011年、2012年にかけて当社の利益成長が続くと見込んでいます。我々は事業ポートフォリオを簡素化し、リスクを大幅に低減してきました。また、グローバル・パートナーシップを伴う内部成長を促進するための投資を行い、研究開発費を21%拡大すると共に、様々な新製品を投入してきました。当社は、バランス良く統制のとれた資本配分計画を実行しつつ、増配、M&Aや自社株買いを行っています。2011年度の事業の見通しは十分達成可能と考えており、将来について明るい見通しを持っています。」とイメルトは述べています。

注：別紙の財務諸表には、当社の財務状況、業績およびキャッシュフローを測定するうえで不可欠な情報が含まれています。

* * *

GE について

GE は、世界各国においてインフラストラクチャー、金融、メディアの分野で事業を展開し、世界が直面している困難な課題の解決に貢献しています。航空機エンジン、発電をはじめ、金融サービスや医療用画像診断装置（メディカル・イメージング）、テレビ番組の編成にいたるまで、幅広い商品とサービスを、世界 100 カ国以上のお客さまに提供しており、約 30 万人の従業員を擁しています。詳細は、GE のホームページをご覧ください。GE は、日本においても 100 年以上にわたって事業展開しており、社員は約 5,000 人を数えます。日本における GE の事業・活動等については、<http://www.ge.com/jp/> をご覧ください。

「将来予想に関する記述」について

この文書には「将来予想に関する記述」、すなわち過去の出来事ではなく、将来に関する記述が含まれています。「将来予想に関する記述」では、予想される将来の業績、財務成績、財政状況にしばしば言及し、「期待する」「予想する」「つもりである」「計画する」「信じる」「捜し求める」「見込む」「～であろう」といった言葉を含むことがよくあります。「将来予想に関する記述」はその性質上、程度の差はあれ不確実な事柄に言及します。GE の実際の業績は、「将来予想に関する記述」で述べた内容と実質的に異なる可能性があります。その原因となり得る不確実性には、金利や為替レートの変動および商品価格・株価・金融資産価値を含む、現在の経済・金融状況、当社が計画する GE キャピタル・コーポレーション(GECC)の資金調達の可能性やそれに伴う費用、そして、GECC の資産レベルを縮小するための当社の能力に影響を及ぼす、経済・金融市場の状況などが考えられます。また、法人金融・個人向け金融が債務不履行（デフォルト）になるリスク・レベルに影響を与え得る、住宅市場の状況および失業率の推移、日本の消費者金融におけるグレーゾーン金利返還の当社見積もりに対する実際の請求状況、当社が現在の信用格付けを保持できる能力、および当社が信用格付けを保持できなかった場合に生じ得る、当社の資金調達費用や競争力への影響、四半期配当を計画どおりに実施する当社の能力に影響を及ぼし得る、当社のキャッシュフローや利益など財務状況の適切性、当社の客先である主要産業（航空会社、鉄道、エネルギー生産、ネットワーク TV、不動産、ヘルスケア、あるいはその他の産業）からの需要およびこれらの顧客企業の経営状況、法律および規制・捜査・法的手続・法令遵守リスクの影響（金融関連法令の影響を含む）、買収・合併事業・売却など戦略的行為や、発表済みの案件完了や買収した事業の統合における当社の成功、さらに政治的、経済的、商業的、競争的な性質を持つ、国や地域、世界規模で起こる、その他の多数の事象が含まれます。こうした不確実性により、将来における GE の実際の業績は「将来予想に関する記述」で述べた内容と実質的に異なる可能性があります。GE は「将来予想に関する記述」を更新する義務は負いません。

本件に関するお問い合わせ

日本 GE コーポレート・コミュニケーション本部
TEL: 03-3588-9500

ゼネラル・エレクトリック・カンパニー

損益計算書
連結

10-12月期				GE (a)			金融サービス(GECS)		
	2010	2009	V%	2010	2009	V%	2010	2009	V%
売上げ									
商品およびサービス売上げ	\$28,659	\$28,429		\$28,715	\$28,298		\$44	\$279	
その他の売上げ	336	106		382	144		-	-	
GECS の継続事業による売上げ	-	-		1,036	73		-	-	
GECS のサービス売上げ	<u>12,382</u>	<u>12,511</u>		<u>-</u>	<u>-</u>		<u>12,770</u>	<u>12,833</u>	
総収入	<u>41,377</u>	<u>41,046</u>	1%	<u>30,133</u>	<u>28,515</u>	6%	<u>12,814</u>	<u>13,112</u>	(2)%
売上原価および費用									
商品売上原価、営業管理費および一般管理費	31,682	30,531		26,020	24,620		5,974	6,207	
支払い利息およびその他の財務費用	3,969	4,341		434	402		3,715	4,099	
投資契約・保険損失・保険および年金給付	802	760		-	-		844	812	
貸倒引当金	<u>1,354</u>	<u>2,840</u>		<u>-</u>	<u>-</u>		<u>1,354</u>	<u>2,840</u>	
売上原価および費用合計	<u>37,807</u>	<u>38,472</u>	(2)%	<u>26,454</u>	<u>25,022</u>	6%	<u>11,887</u>	<u>13,958</u>	(15)%
税引前の継続事業による利益（損失）	3,570	2,574	39%	3,679	3,493	5%	927	(846)	F
法人税等引当額（引当金）	<u>589</u>	<u>521</u>		<u>455</u>	<u>(346)</u>		<u>134</u>	<u>867</u>	
継続事業による利益	4,159	3,095	34%	4,134	3,147	31%	1,061	21	F
非継続事業による税引利益（損失）	<u>605</u>	<u>20</u>		<u>605</u>	<u>20</u>		<u>605</u>	<u>20</u>	
純利益	4,764	3,115	53%	4,739	3,167	50%	1,666	41	F
非支配持分の純利益（損失）を差し引く	<u>229</u>	<u>102</u>		<u>204</u>	<u>154</u>		<u>25</u>	<u>(52)</u>	
当社に帰属する利益	4,535	3,013	51%	4,535	3,013	51%	1,641	93	F
優先株主配当	<u>(75)</u>	<u>(75)</u>		<u>(75)</u>	<u>(75)</u>		<u>-</u>	<u>-</u>	
普通株主に帰属する純利益	<u>\$4,460</u>	<u>\$2,938</u>	52%	<u>\$4,460</u>	<u>\$2,938</u>	52%	<u>\$1,641</u>	<u>\$93</u>	F
当社に帰属する利益									
継続事業による利益	\$3,930	\$2,993	31%	\$3,930	\$2,993	31%	\$1,036	\$73	F
非継続事業による税引き利益	<u>605</u>	<u>20</u>		<u>605</u>	<u>20</u>		<u>605</u>	<u>20</u>	
当社に帰属する純利益	<u>\$4,535</u>	<u>\$3,013</u>	51%	<u>\$4,535</u>	<u>\$3,013</u>	51%	<u>\$1,641</u>	<u>\$93</u>	F
継続事業による1株あたり利益									
希釈化後	\$0.36	\$0.27	33%						
希釈化前	\$0.36	\$0.27	33%						
1株当たり純利益									
希釈化後	\$0.42	\$0.28	50%						
希釈化前	\$0.42	\$0.28	50%						
期中平均株式数									
希釈化後	10,654	10,661	-%						
希釈化前	10,636	10,656	-%						
1株当たり配当額	\$0.14	\$0.10	40%						

(a) GECSを含めたエレクトロニクス・ベースでのGEの産業分野事業を対象

単位は百万ドルもしくは百万株。1株当たりの単位はドル。未監査。補足のデータを「GE」および「GECS」欄に示す。

「連結」欄には、GEとGECS間の取引を含まない。連結および修正事項に関する詳細な情報は、www.ge.com/ar2009に掲載されている2009年連結財務諸表の注記1を参照のこと。

ゼネラル・エレクトリック・カンパニー
損益計算書

1月－12月通年	連結			GE (a)			金融サービス (GECS)		
	2010	2009	V%	2010	2009	V%	2010	2009	V%
売上げ									
商品およびサービス売上げ	\$100,437	\$103,777		\$100,220	\$103,457		\$533	\$970	
その他の売上げ	1,151	1,006		1,285	1,179		-	-	
GECS の継続事業による売上げ	-	-		3,130	1,315		-	-	
GECS のサービス売上げ	48,623	50,495		-	-		49,966	51,688	
総収入	150,211	155,278	(3)%	104,635	105,951	(1)%	50,499	52,658	(4)%
売上原価および費用									
商品売上原価、営業管理費および一般管理費	109,817	113,330		87,869	90,606		22,983	23,913	
支払い利息およびその他の財務費用	15,983	18,309		1,600	1,478		14,956	17,482	
投資契約・保険損失・保険および年金給付	3,012	3,017		-	-		3,197	3,193	
貸倒引当金	7,191	10,627		-	-		7,191	10,627	
売上原価および費用合計	136,003	145,283	(6)%	89,469	92,084	(3)%	48,327	55,215	(12)%
税引前の継続事業による利益（損失）	14,208	9,995	42%	15,166	13,867	9%	2,172	(2,557)	F
法人税等引当額（引当金）	(1,050)	1,148		(2,024)	(2,739)		974	3,887	
継続事業による利益	13,158	11,143	18%	13,142	11,128	18%	3,146	1,330	F
非継続事業による税引き利益	(979)	82		(979)	82		(975)	100	
純利益	12,179	11,225	8%	12,163	11,210	9%	2,171	1,430	52%
非支配持分の純利益を差し引く	535	200		519	185		16	15	
当社に帰属する純利益	11,644	11,025	6%	11,644	11,025	6%	2,155	1,415	52%
優先株式配当	(300)	(300)		(300)	(300)		-	-	
普通株主に帰属する純利益	\$11,344	\$10,725	6%	\$11,344	\$10,725	6%	\$2,155	\$1,415	52%
当社に帰属する利益									
継続事業による利益	\$12,623	\$10,943	15%	\$12,623	\$10,943	15%	\$3,130	\$1,315	F
非継続事業による税引き利益（損失）	(979)	82		(979)	82		(975)	100	
当社に帰属する純利益	\$11,644	\$11,025	6%	\$11,644	\$11,025	6%	\$2,155	\$1,415	52%
継続事業による1株あたり利益									
希釈化後	\$1.15	\$1.00	15%						
希釈化前	\$1.15	\$1.00	15%						
1株当たり純利益									
希釈化後	\$1.06	\$1.01	5%						
希釈化前	\$1.06	\$1.01	5%						
期中平均株式数									
希釈化後	10,678	10,615	1%						
希釈化前	10,661	10,614	-%						
1株当たり配当額	\$0.46	\$0.61	(25)%						

(a) GECSを含めたエクイティ・ベースでのGEの産業分野事業を対象

単位は百万ドルもしくは百万株。1株当たりの単位はドル。未監査。補足のデータを「GE」および「GECS」欄に示す。「連結」欄には、GEとGECS間の取引を含まない。連結および修正事項に関する詳細な情報は、www.ge.com/ar2009に掲載されている2009年連結財務諸表の注記1を参照のこと。

ゼネラル・エレクトリック・カンパニー
セグメント別業績の要約 (未監査)

(単位：100万ドル)

	1 2月3 1日までの 3ヶ月間			1 2月3 1日までの 1 2ヶ月間		
	2010	2009	V%	2010	2009	V%
売上げ						
エナジー・インフラストラクチャー (a)	\$ 10,960	\$ 11,338	(3)%	\$ 37,514	\$ 40,648	(8)%
テクノロジー・インフラストラクチャー(a)	10,930	10,051	9%	37,860	38,517	(2)%
NBC ユニバーサル	4,762	4,268	12%	16,901	15,436	9%
GE キャピタル(a)	11,899	12,344	(4)%	47,040	49,746	(5)%
ホーム&ビジネス・ソリューションズ(a)	2,333	2,214	5%	8,648	8,443	2%
全セグメントの売上げ	40,884	40,215	2%	147,963	152,790	(3)%
セグメント間取引の消去および本社勘定	493	831	(41)%	2,248	2,488	(10)%
継続事業による連結売上げ	\$ 41,377	\$ 41,046	1%	\$ 150,211	\$ 155,278	(3)%
セグメント別利益 (b)						
エナジー・インフラストラクチャー(a)	\$ 2,224	\$ 2,275	(2)%	\$ 7,271	\$ 7,105	2%
テクノロジー・インフラストラクチャー(a)	1,883	1,695	11%	6,314	6,785	(7)%
NBC ユニバーサル	830	602	38%	2,261	2,264	-
GE キャピタル(a)	1,056	99	F	3,265	1,462	F
ホーム&ビジネス・ソリューションズ(a)	139	131	6%	457	370	24%
全セグメントの利益	6,132	4,802	28%	19,568	17,986	9%
セグメント間取引の消去および本社勘定	(2,223)	(1,061)	U	(3,321)	(2,826)	(18)%
GE 金利およびその他の金融手数料	(434)	(402)	(8)%	(1,600)	(1,478)	(8)%
GE 法人税引当金	455	(346)	F	(2,024)	(2,739)	26%
継続事業による利益	3,930	2,993	31%	12,623	10,943	15%
非継続事業による税引き利益 (損失)	605	20	F	(979)	82	U
連結純利益	\$ 4,535	\$ 3,013	51%	\$ 11,644	\$ 11,025	6%

(a)セグメントを再編し2010年1月1日より施行。それ以前の金額に関しては当期の表示内容に合致するように再分類された。

(b)セグメント別利益の評価対象から常に除外される項目は、主要な年金プラン、非継続事業、非支配持分および会計処理変更による影響である。また、事業再編や合理化による費用、進行中の研究および開発、事業取得に関わる費用および差額、技術および製品開発コスト、処分に伴う利益または損失、訴訟の和解やその他費用など、現経営陣の前任者に責を帰すべきものについては、算入しない場合もある。セグメント別利益は、セグメント別の経営評価方法に応じて、利息やその他財務費用、法人税等を算入する場合も、除外する場合もある。セグメント別利益からこれらを除外しているのは、テクノロジー・インフラストラクチャー、エナジー・インフラストラクチャー、NBCユニバーサル、ホーム&ビジネス・ソリューションズであり、これは営業利益とも言えるものである。セグメント別利益にこれを含めているのは、金融事業で、これは純利益とも言えるものである。

ゼネラル・エレクトリック・カンパニー
セグメント別業績の要約（未監査）
追加情報

(単位100万ドル)	1 2月3 1日までの 3ヶ月間			1 2月3 1日までの 1 2ヶ月間		
	2010	2009	V%	2010	2009	V%
エナジー・インフラストラクチャー 売上げ	\$ 10,960	\$ 11,338	(3)%	\$ 37,514	\$ 40,648	(8)%
セグメント利益	\$ 2,224	\$ 2,275	(2)%	\$ 7,271	\$ 7,105	2%
売上げ						
エナジー	\$ 8,810	\$ 9,249	(5)%	\$ 30,854	\$ 33,698	(8)%
オイル & ガス	2,416	2,299	5%	7,561	7,743	(2)%
セグメント利益						
エナジー	\$ 1,842	\$ 1,895	(3)%	\$ 6,235	\$ 6,045	3%
オイル&ガス	435	422	3%	1,205	1,222	(1)%
テクノロジー・インフラストラクチャー 売上げ	\$ 10,930	\$ 10,051	9%	\$ 37,860	\$ 38,517	(2)%
セグメント利益	\$ 1,883	\$ 1,695	11%	\$ 6,314	\$ 6,785	(7)%
売上げ						
アビエーション	\$ 4,804	\$ 4,750	1%	\$ 17,619	\$ 18,728	(6)%
ヘルスケア	5,104	4,705	8%	16,897	16,015	6%
トランスポートーション	1,026	617	66%	3,370	3,827	(12)%
セグメント利益						
アビエーション	\$ 821	\$ 950	(14)%	\$ 3,304	\$ 3,923	(16)%
ヘルスケア	1,002	911	10%	2,741	2,420	13%
トランスポートーション	73	(157)	F	315	473	(33)%
(次ページへ続く)						
GE キャピタル 売上げ	\$ 11,899	\$ 12,344	(4)%	\$ 47,040	\$ 49,746	(5)%
セグメント利益	\$ 1,056	\$ 99	F	\$ 3,265	\$ 1,462	F
売上げ						
CLL(a)	\$ 4,796	\$ 5,051	(5)%	\$ 18,447	\$ 20,762	(11)%
コンシューマー(a)	4,517	4,338	4%	17,822	17,634	1%
リアル・エステート	856	1,039	(18)%	3,744	4,009	(7)%
エナジー・フィナンシャル・サービス	280	500	(44)%	1,957	2,117	(8)%
GECAS(a)	1,308	1,203	9%	5,127	4,594	12%
セグメント利益						
CLL(a)	\$ 567	\$ 352	61%	\$ 1,554	\$ 963	61%
コンシューマー(a)	574	225	F	2,629	1,419	85%
リアル・エステート	(409)	(593)	31%	(1,741)	(1,541)	(13)%
エナジー・フィナンシャル・サービス	33	31	6%	367	212	73%
GECAS(a)	432	283	53%	1,195	1,016	18%

(a)2009年の第1四半期の間にトランスポートーション・ファイナンス・サービスの事業をGECASからCLLへと移動させ、イタリアのコンシューマー・ビジネスをコンシューマーからCLLへと移動させた。それ以前の金額に関しては当期の表示内容に合致するように再分類された。

ゼネラル・エレクトリック・カンパニー
連結貸借対照表

(単位10億ドル)

	連結		GE(a)		金融サービス(GECS)	
資産	12/31/10	12/31/09	12/31/10	12/31/09	12/31/10	12/31/09
現金および有価証券	\$ 122.9	\$ 121.8	\$ 19.3	\$ 8.7	\$ 104.2	\$ 113.9
受取手形および売掛金	18.6	16.5	10.4	9.8	-	-
棚卸資産	11.5	12.0	11.5	11.9	0.1	0.1
GECS の金融債権—純額	310.1	319.2	-	-	319.3	326.9
固定資産—純額	66.2	69.0	12.4	12.5	53.8	56.5
GECS に対する投資	-	-	69.0	70.8	-	-
営業権・無形固定資産	74.4	76.8	45.0	45.1	29.5	31.8
その他の資産	105.3	117.4	17.3	17.0	93.5	105.9
売却対象事業の資産	36.9	34.1	33.8	34.0	3.1	0.1
非継続事業の資産	5.3	15.1	0.1	0.1	5.2	15.1
総資産	\$ 751.2	\$ 781.9	\$ 218.8	\$ 209.9	\$ 608.7	\$ 650.3
負債および資本						
借入金および銀行預金	\$ 478.6	\$ 503.4	\$ 10.1	\$ 12.2	\$ 470.6	\$ 493.6
投資契約・保険損失・						
保険および年金給付	29.6	31.6	-	-	30.0	32.0
その他の負債	100.5	107.2	70.0	68.4	35.2	43.5
売却対象事業の負債	16.0	6.1	15.5	6.0	0.6	0.1
非継続事業の負債	2.3	8.5	0.2	0.2	2.1	8.3
株主資本	118.9	117.3	118.9	117.3	69.0	70.8
非支配持分	5.3	7.8	4.1	5.8	1.2	2.0
負債および資本合計	\$ 751.2	\$ 781.9	\$ 218.8	\$ 209.9	\$ 608.7	\$ 650.3

(a) GECSを含めたエクイティ・ベースでのGEの産業事業分野を対象

2010年12月31日現在。未監査。補足のデータを「GE」および「GECS」欄に示す。「連結」欄にはGEとGECS間の取引を含まない。

連結および修正事項に関する詳細な情報はwww.ge.com/ar2009に掲載されている2009年連結財務諸表の注記1を参照のこと。

ゼネラル・エレクトリック・カンパニー GAAPデータを補足する財務諸表データ

GAAP 基準で作成されていない連結財務諸表の情報を使用する場合があります。この種のデータは、SEC基準では「非GAAP財務指標」として扱われます。こうした非GAAP財務指標は、本リリースで発表したGAAP指標を補足するものであり、代替するものではありません。ここで取り上げるのは、産業分野事業の本業による内部売上成長、2010 年の12月31日までの12ヶ月間の営業活動によるキャッシュフロー（インダストリアルCFOA）の前年との比較、2010年第4四半期（12月31日までの3ヶ月）におけるインダストリアルCFOAおよびNBCUを除く産業分野事業の営業利益率です。これらのデータは後に最も比較に適したGAAP基準と照合されます。

(単位：100万ドル)

インダストリアル（産業分野事業）本業による内部売上成長

	1 2月31日までの 3ヶ月間		
	2010	2009	V%
GE の売上	\$ 30,133	\$ 28,515	
継続事業からの GECS の利益を差し引く	1,036	73	
インダストリアル部門の売上	\$ 29,097	\$ 28,442	
以下の影響を差し引く：			
買収、事業譲渡（投資目的で取得した事業の売却を除く）および為替レート	(384)	680	
買収、事業譲渡（投資目的で取得した事業の売却を除く）			
および為替レートによる影響を除いたインダストリアル部門の売上			
（インダストリアル部門本業による内部売上）	\$ 29,481	\$ 27,762	6%

本業による内部売上成長とは、買収、事業譲渡（投資目的で取得した事業の売却を除く）および為替レートによる影響を除いた売上を測定するものです。前述の影響により、事業活動が大きな変動にさらされ、本来のトレンドが見えにくくなる可能性があるため、それらを排除したデータを提供することによって経営陣ならびに投資家の皆様が、確立され継続中の事業の業績やトレンドについて、より完全な形で理解して頂けると考えています。また、インダストリアル部門の本業による内部売上成長の情報を別途記載することにより、経営陣および投資家の皆様が当社のインダストリアル部門の事業トレンドを理解するのに有用な情報となり、他の非金融業の事業や企業とより直接的に比較することができると考えています。当社経営陣は、「内部売上成長」という用語が他の企業および異なる状況においては、解釈が異なる可能性があることを認識しています。このデータは、異なる会社間の成長率（絶対数ベース）の比較にも効果を発揮する可能性があるものの、こうした評価基準はそれぞれの事業または企業におけるトレンドを評価するのに有用だと考えており、一定期間ごとの業績トレンドの比較に役立つ可能性のあるツールであると考えています。

インダストリアルCFOAの増加

	1 2月31日までの 12ヶ月間		
	2010	2009	V%
GE の営業活動で得たキャッシュ	\$ 14,746	\$ 16,407	
GECS からの配当を差し引く	-	-	
GECS からの配当を除いた GE の営業活動でえたキャッシュ (インダストリアル CFOA)	\$ 14,746	\$ 16,407	(10)%
	1 2月31日までの 3月間		
GE の営業活動で得たキャッシュ	\$ 4,604		
GECS からの配当を差し引く	-		
GECS からの配当を除いた GE の営業活動でえた キャッシュ(インダストリアル CFOA)	\$ 4,604		

インダストリアルCFOAはGEが営業活動で得たキャッシュからGECSからの配当金を差し引いたものです。これには次の社内取引による影響が含まれます。GEからGECSへ販売されたGE顧客の受取債権、売上債権管理・資材調達などのGECSのサービス、ビルや機

器（自動車を含む）のGECSからGEへのリース、GEからGECSへの情報技術（IT）などのサービスの販売、GECSがリース用にサードパーティのメーカーから購入した航空機に搭載されているGEが製造した航空機エンジン、その他の投資、貸付金、会社運営諸経費の配分。GECSからの配当を除いてGEが営業活動からどれだけキャッシュを得られるかは投資家の皆様の有用な判断材料になるかと思いますが、GECSからの配当金を除くのは、産業事業分野で得るキャッシュフローを反映しないこと、ならびに毎期に金融サービス事業の業績が大きく変動するためです。このキャッシュフローのデータは、産業事業と金融事業の双方を営む企業との比較には役立たないかもしれませんが、金融サービス事業から得ている配当の額について追加情報を得ることで、比較が可能になります。このデータは金融サービス（GECS）のキャッシュフロー報告書に記載されています。インダストリアルCFOAは、産業事業分野のキャッシュを生み出す実力を経営陣ならびに投資家の皆様が正確に判定し、他の非金融業の事業や企業と比較するのに有用と考えるため、GAAP規則によるCFOA値を補足するデータを掲示しています。

NBCUを除く産業事業の営業利益率

12月31日までの3ヶ月間

セグメント	2010			2009		
	営業利益	売上げ	営業利益率%	営業利益	売上げ	営業利益率%
エネルギー・インフラストラクチャー	\$ 2,224	\$ 10,960		\$ 2,275	\$ 11,338	
テクノロジー・インフラストラクチャー	1,883	10,930		1,695	10,051	
ホーム&ビジネス・ソリューションズ	139	2,333		131	2,214	
NBCUを除くインダストリアル	4,246	24,223	17.5%	4,101	23,603	17.4%
NBCU	830	4,762		602	4,268	
産業事業	\$ 5,076	\$ 28,985		\$ 4,703	\$ 27,871	

2010年度と2009年度における12月31日までの3ヶ月間の弊社のメディアビジネスであるNBCユニバーサルを除外した産業事業分野の営業利益率を提示しました。売却対象事業となっているNBCユニバーサルの事業を除外した産業事業分野の業績情報の提供は、投資家の皆様にとって有益な比較情報であると考えます。この評価基準を対応するGAAP評価基準と並べて考慮する事により、経営陣ならびに投資家の皆様にとっては、他の産業事業との比較を行なうための追加情報が得られると考えています。